

巻頭随筆 丘の上

瀬戸内海の島にミュージアムを建てて

岩田 健

久保田万太郎に魅せられ三十二年

大原真理子

井筒俊彦と若松英輔——一点に集中する力

高橋 巖

アメリカで柔道を教えて半世紀

宮崎 剛

特集・激動する中東

アラブの民主化は
どこへ向かうのか

アルモーメンアブドラー／池内 恵／

畑中美樹／奥田 敦／富田広士

〈座談会〉

〈関連記事〉

「アラブ新時代」の到来とソーシヤルメディア

山本達也

ジハード主義とアラブの春

保坂修司

シリアの現在、そして未来

アフマド・アル＝マンスール 聞き手 奥田 敦

41

KEIO MONO
MUSEUM 31

仙波均平「マンドリンのある静物」

解説 藤城清治

49

演説館

福島第一原発事故に対する損害賠償のあり方を考える

中空麻奈

52

話題の人

サラウンドを追い求めて

富田 勲 インタビュー 小森昭宏

56

慶應義塾
史跡めぐり 第61回

北海道の開拓者(上)——依田勉三

加藤三明

62

慶應義塾主催 学術シンポジウム「震災後の東日本の復興・再生に向けて」

「震災後の東日本の復興・再生に向けて」の開催

慶應義塾塾長室

66

主催者代表挨拶

清家 篤

68

〈第一部 講演〉

災害危機管理——新しいメディアの視点から	村井 純	70
エネルギーの視点から震災復興を考える——徒歩十五分で避難可能な多重安全構造の街	佐藤春樹	71
震災復興への医療的支援——こころのケアを中心に	三村 将	72
農業分野の復興を目指して——次世代農業への取り組み	神成淳司	73

〈第二部 震災後の
日本再生に向けて〉

特別ゲスト	五百旗頭 真	74
総括コメント	竹中平蔵	75
パネルディスカッション	国分良成	76
	大久保忠宗	80

現代に生きる福澤諭吉のことば その61

三人閑談	市川たい子／浅野加寿子／池井 優	82
------	------------------	----

塾員クロスロード	放課後からの教育改革 ちよつとずつ	寺川奈津美	99
		平岩国泰	48

Researcher's Eye

執筆ノート	日本的「事後の信頼」と中国的「事前の信頼」 記念碑としての街灯 日常の風景から解剖する——形態と機能から考えること	丹沢安治	47
		近森高明	51
		千葉知宏	95
	『京都花街 ファッションの美と心』 『フィンランドで見つけた「学びのデザイン」』 『経済学 わが道』	相原恭子	96
		大橋香奈(共著)	97
		福岡正夫	98

社中交歓	み の り	本井 英／久松達央／立入正之／速水浩平	100
------	-------	---------------------	-----

追想	飯田鼎先生追想——研究の自由と責任のあり方を学ぶ	小松隆二	110
----	--------------------------	------	-----

慶應義塾による「東北地方太平洋沖地震義援金」へのご協力の御礼

寸描(池井優) 93	山上広場 102	塾長室日誌(平成二十三年七・八月) 104	塾内ニュース 107
ヒサクニヒコのマンガ何でも劇場 109	三田会だより 112	表紙絵から 136	寄付・維持会申込者芳名
原総▼小泉淳作 本文カット▼阿部愼蔵・ヒサクニヒコ 口絵写真▼石戸晋・井上悟ほか 表紙デザイン▼巖谷純介	表紙絵▼飯田善國(アイルランド詩集)(横田茂キヤラー提供)より「ダブリンの砲台(ナポレオン侵入への防備)」		